

第8章 環境に及ぼす影響の内容及び程度 並びにその評価

8.1 騒音・振動

第8章 環境に及ぼす影響の内容及び程度並びにその評価

8.1 騒音・振動

8.1.1 現況調査

(1) 調査事項

工事の施行中における建設機械の稼働に伴う建設作業騒音及び建設作業振動、仮線区間の列車の走行に伴う鉄道騒音及び鉄道振動、工事の完了後における列車の走行に伴う鉄道騒音及び鉄道振動が、周辺の環境に影響を及ぼすおそれがあるため、以下の事項について調査した。

- ア 騒音・振動の状況
- イ 土地利用の状況
- ウ 発生源の状況
- エ 列車本数等の状況
- オ 地盤及び地形の状況
- カ 法令による基準等

(2) 調査地域

調査地域は、対象事業の種類及び規模並びに地域の概況を勘案し、対象事業の実施に伴う騒音・振動が日常生活に影響を及ぼすと想定される地域とした。

(3) 調査方法

調査方法は、既存資料調査及び現地調査によった。

ア 既存資料調査

既存資料調査は、表8.1.1-1に示す資料を収集・整理した。

表 8.1.1-1 調査方法(既存資料調査)

調査事項	使用した主な資料	備考
ア 騒音・振動の状況	<ul style="list-style-type: none"> 「平成25年度板橋区環境白書」(平成26年3月 板橋区) 「平成26年度板橋区環境白書」(平成27年3月 板橋区) 「平成27年度板橋区環境白書」(平成28年3月 板橋区) 「平成28年度板橋区環境白書」(平成29年3月 板橋区) 「平成29年度板橋区環境白書」(平成30年3月 板橋区) 「平成24年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成25年7月 東京都環境局) 「平成25年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成26年7月 東京都環境局) 「平成26年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成27年8月 東京都環境局) 「平成27年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成28年8月 東京都環境局) 「平成28年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成29年7月 東京都環境局) 	最新の資料を参考とした。
イ 土地利用の状況	<ul style="list-style-type: none"> 「東京の土地利用 平成28年東京都区部」(平成30年5月 東京都都市整備局) 「板橋区用途地域図(平成30年4月現在)」(平成30年6月 板橋区ウェブサイト) 「豊島区都市計画図(地域地区等)(平成30年4月現在)」(平成30年6月 豊島区ウェブサイト) 「東京都土地利用現況図〔建物用途別〕(区部)(平成28年現在)」(東京都都市整備局) 「どこナビいたばし」(平成30年6月 板橋区ウェブサイト) 「私立幼稚園」(平成30年6月 板橋区教育委員会ウェブサイト) 「私立学校一覧」(平成30年6月 公益財団法人 東京都私学財団ウェブサイト) 「都立高等学校一覧・都立高等学校開校・閉校一覧(平成30年4月1日現在)」(平成30年6月 東京都教育委員会ウェブサイト) 「医療機関名簿」(平成29年 東京都福祉保健局) 「便利ガイド」(平成30年6月 豊島区ウェブサイト) 「公園ガイド」(平成30年6月 豊島区ウェブサイト) 	
ウ 発生源の状況	<ul style="list-style-type: none"> 「平成27年度道路交通量センサス一般交通量調査結果」(平成30年6月 東京都建設局ウェブサイト) 「平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)一般交通量調査」(平成30年6月 国土交通省ウェブサイト) 	
エ 列車本数等の状況	<ul style="list-style-type: none"> 東武鉄道株式会社の資料 	
オ 地盤及び地形の状況	<ul style="list-style-type: none"> 「東京都総合地盤図Ⅰ 東京の地盤(1)」(昭和52年8月 東京都土木技術研究所) 「東武鉄道東上本線(大山駅付近)連続立体交差化事業に伴う大山駅付近立体化調査設計 地質調査報告書」(平成27年5月 東京都、東武鉄道株式会社) 	
カ 法令による基準等	<ul style="list-style-type: none"> 環境基本法(平成5年法律第91号) 騒音規制法(昭和43年法律第98号) 振動規制法(昭和51年法律第64号) 「在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について」(平成7年12月 環大一174号) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(平成12年東京都条例第215号) 	

イ 現地調査

環境騒音及び環境振動、鉄道騒音及び鉄道振動について、以下のとおり現地調査を行った。

(7) 環境騒音

a. 調査地点及び調査日時

調査地点は、図8.1.1-1に示すとおり、将来の鉄道構造、土地利用状況等を考慮して選定した。調査日時は、表8.1.1-2に示すとおりである。

表 8.1.1-2 調査地点及び調査日時 (環境騒音)

地点番号	調査地点	用途地域	地域の類型	調査日時
E-1	板橋区大山東町 12 付近	第二種住居地域	B	平成 30 年 5 月 16 日 (水) 12:00~ 平成 30 年 5 月 17 日 (木) 12:00
E-2	板橋区栄町 26 付近	第一種住居地域	B	
E-3	板橋区中板橋 13 付近	第一種住居地域	B	

注) 地域の類型

A : 専ら住居の用に供される地域

B : 主として住居の用に供される地域

C : 相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域

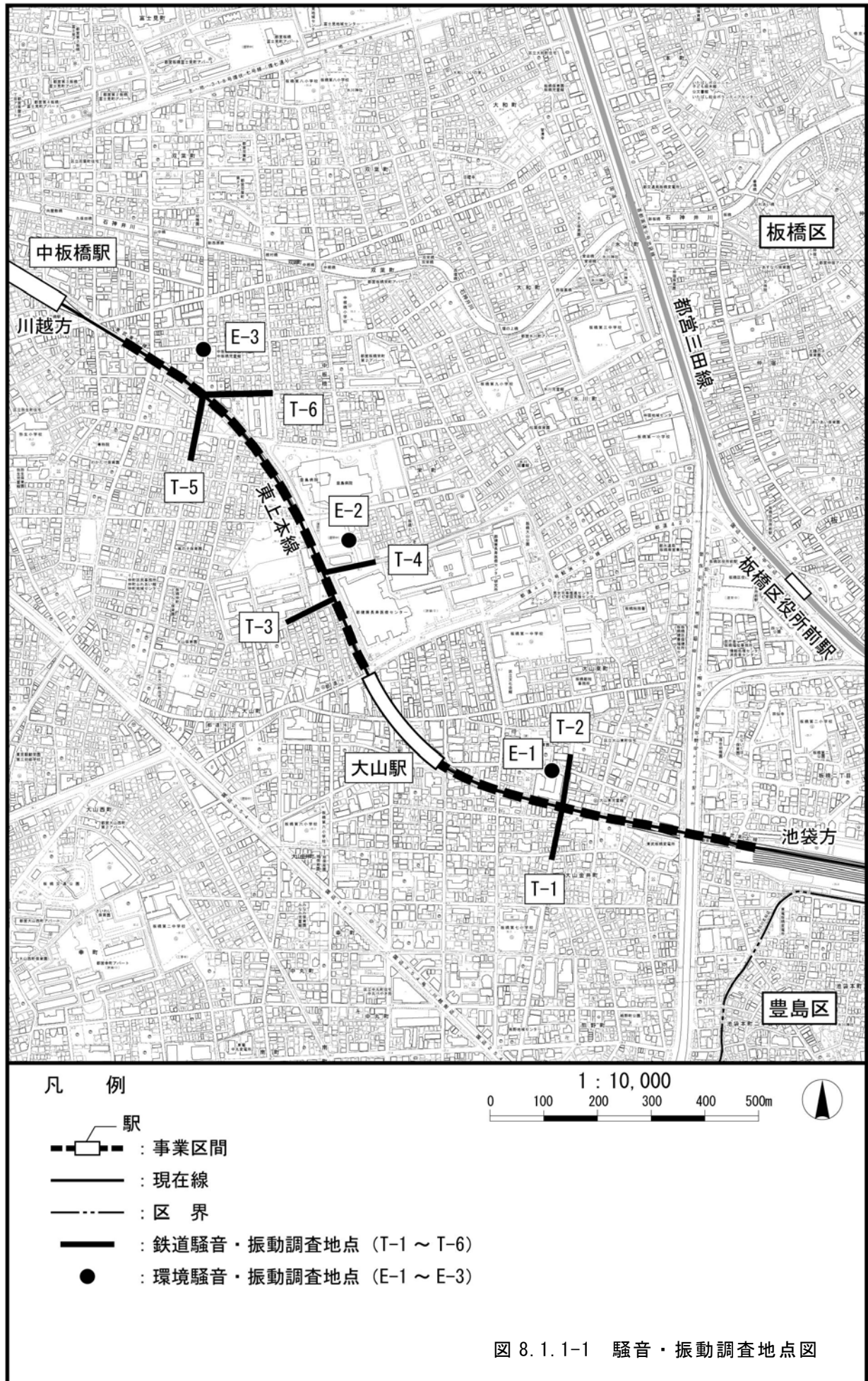
b. 測定方法

環境騒音の測定は、「騒音に係る環境基準について」(平成10年 環境庁告示第64号)に基づき、「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731:1999)に準拠して行った。積分型普通騒音計は、地上から1.2mの高さに設置して測定した。

電車、クラクション、サイレン、人の会話、航空機の音等の突発的な音は除外した。

また、測定結果より等価騒音レベル (L_{Aeq}) *を算出した。

※等価騒音レベル (L_{Aeq}) :一定時間内に受けた騒音エネルギーを時間平均した騒音レベルのこと。



(イ) 環境振動

a. 調査地点及び調査日時

調査地点は、図8.1.1-1(45ページ参照)に示すとおり、将来の鉄道構造、土地利用状況等を考慮して選定した。調査日時は、表8.1.1-3に示すとおりである。

表 8.1.1-3 調査地点及び調査日時(環境振動)

地点番号	調査地点	用途地域	区域の区分	調査日時
E-1	板橋区大山東町12付近	第二種住居地域	第1種	平成30年5月16日(水) 12:00~ 平成30年5月17日(木) 12:00
E-2	板橋区栄町26付近	第一種住居地域	第1種	
E-3	板橋区中板橋13付近	第一種住居地域	第1種	

注) 第1種: 昼間 8時~19時、夜間 19時~8時

b. 測定方法

環境振動の測定は、「振動規制法施行規則」(昭和51年総理府令第58号)及び「振動レベル測定方法」(JIS Z 8735:1981)に準拠して行った。

また、測定結果より80%レンジ上端値(L₁₀)^{*}を算出した。

※80%レンジ上端値(L₁₀): 全ての測定値を大きさの順に並び替えた際、大きいほうから10%目に該当する数値のこと。

(ウ) 鉄道騒音

a. 調査地点及び調査日

調査地点は、表8.1.1-4及び図8.1.1-1(45ページ参照)に示すとおりであり、将来の鉄道構造、土地利用状況等を考慮して選定した。

鉄道騒音の測定は、T-1からT-6までの6測線について、計画線最寄り軌道中心から原則として水平方向に6.25m、12.5m、25m、50m及び100m、地上からの高さが1.2mの位置で行った。

調査日は、表8.1.1-4に示すとおりである。

表 8.1.1-4 調査地点及び調査日(鉄道騒音)

調査地点			調査日
測線	住所	上下別	
T-1	板橋区大山金井町 25 付近	下り線側	平成 30 年 5 月 21 日 (月)
T-2	板橋区大山東町 14 付近	上り線側	平成 30 年 5 月 22 日 (火)
T-3	板橋区仲町 1 付近	下り線側	平成 30 年 5 月 23 日 (水)
T-4	板橋区栄町 34 付近	上り線側	平成 30 年 5 月 24 日 (木)
T-5	板橋区仲町 8 付近	下り線側	平成 30 年 5 月 28 日 (月)
T-6	板橋区栄町 32 付近	上り線側	平成 30 年 6 月 5 日 (火)

b. 測定方法

鉄道騒音の測定は、「在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について」(平成7年12月 環大一174号)に定める方法に準拠して行った。

騒音レベルの測定は、「計量法」(平成4年法律第51号)第71条の条件に合格した騒音計(JIS C 1509-1:2005)とレベルレコーダ(JIS C 1512:1996)の組合せを用いて行った。

等価騒音レベルは、「在来鉄道の新設又は大規模改良に際しての騒音対策の指針について」の評価方法に準じ、列車の単発騒音暴露レベル[※]の測定結果を基に、時間帯ごとの列車本数を乗じて算出した。

測定対象の列車に関しては、通過時刻、列車種別、型式、車両数及び列車速度について観測を行った。列車速度は、調査地点付近において通過列車の先頭と最後尾の通過所要時間を計測し、列車長より算出した。

また、測定する列車本数については、「新たな騒音の評価手法の解説と測定法の実習」(平成10年度 社団法人日本騒音制御工学会)の資料によると「全列車の10%~20%程度を測定すれば±1dBの誤差で L_{Aeq} を推定することが可能である」とされていることから、今回、全列車(644本)の約20%(130本)を測定列車本数と設定した。(上記の測定列車本数の妥当性を検証するため、T-4の計画線最寄り軌道中心から水平方向に12.5m、高さが1.2mの地点において全列車測定を行い、始発から終電までの全データで求めた等価騒音レベルと任意の時間帯に測定したデータから求めた等価騒音レベルの比較を行った。【資料編102~118ページ参照】)

なお、測定時間は、朝のラッシュ時間帯における速度低下等を考慮し、平均的な運行状況となるおおむね10時頃からとした。

※単発騒音暴露レベル：単発的に発生する騒音の1回の発生ごとのエネルギーと等しいエネルギーを持つ継続時間1秒の定常音の騒音レベル。
1列車が通過した際に測定される騒音のエネルギー量を表す。

(I) 鉄道振動

a. 調査地点及び調査日

調査地点は、表8.1.1-5及び図8.1.1-1(45ページ参照)に示すとおりであり、将来の鉄道構造、土地利用状況等を考慮して選定した。

鉄道振動の測定は、T-1からT-6までの6測線について、計画線最寄り軌道中心から原則として水平方向に6.25m、12.5m、25m及び50mの地盤面で行った。

調査日は、表8.1.1-5に示すとおりである。

表 8.1.1-5 調査地点及び調査日(鉄道振動)

調査地点			調査日
測線	住所	上下別	
T-1	板橋区大山金井町 25 付近	下り線側	平成 30 年 5 月 21 日 (月)
T-2	板橋区大山東町 14 付近	上り線側	平成 30 年 5 月 22 日 (火)
T-3	板橋区仲町 1 付近	下り線側	平成 30 年 5 月 23 日 (水)
T-4	板橋区栄町 34 付近	上り線側	平成 30 年 5 月 24 日 (木)
T-5	板橋区仲町 8 付近	下り線側	平成 30 年 5 月 28 日 (月)
T-6	板橋区栄町 32 付近	上り線側	平成 30 年 6 月 5 日 (火)

b. 測定方法

鉄道振動の測定は、「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について」(昭和51年3月環大特32号)に準拠して行った。

振動レベルの測定は、「計量法」第71条の条件に合格した振動レベル計(JIS C 1510:1995)とレベルレコーダ(JIS C 1512:1996)との組合せを用いて行った。

測定対象の列車に関しては、鉄道騒音と同様に通過時刻、列車種別、型式、車両数及び列車速度について観測を行った。

測定結果から、測定列車の上位半数の算術平均を算出した。

(4) 調査結果

ア 騒音・振動の状況

(7) 既存資料調査

a. 鉄道騒音

事業区間周辺における鉄道騒音の測定結果は、表8.1.1-6に示すとおりである。

平成24年度の測定結果は、東武東上線の平地区間において、最寄り軌道中心から水平方向に12.5m、地上からの高さが1.2mの地点で61dB、25mの地点で60dBであった。

平成25年度の測定結果は、東武東上線の平地区間において、最寄り軌道中心から水平方向に12.5m、地上からの高さが1.2mの地点で64dB～64.9dB、25mの地点で54.4dB～61dBであった。

平成26年度の測定結果は、東武東上線の平地区間において、最寄り軌道中心から水平方向に12.5m、地上からの高さが1.2mの地点で66dBであった。

平成27年度の測定結果は、東武東上線の平地区間において、最寄り軌道中心から水平方向に12.5m、地上からの高さが1.2mの地点で64dB～65.5dB、25mの地点で59.0dB～60.3dBであった。

平成28年度の測定結果は、東武東上線の平地区間において、最寄り軌道中心から水平方向に12.5m、地上からの高さが1.2mの地点で66dBであった。

表 8.1.1-6 在来線の鉄道騒音測定結果

調査年度	路線名 (線路構造)	測定地点 (用途地域)	軌道中心線 からの水平 距離 (m)	等価騒音 レベル(昼間) (dB)
平成24年度	東武東上線 (平地)	板橋区常盤台3-28地先 (第一種中高層住居専用地域)	12.5	61
			25	60
平成25年度	東武東上線 (平地)	板橋区常盤台4-2地先 (第一種中高層住居専用地域)	12.5	64
			25	61
	東武東上線 (平地)	板橋区赤塚2-40地先 (第一種中高層住居専用地域)	12.5	64.9
			25	54.4
平成26年度	東武東上線 (平地)	板橋区成増3-26地先 (準工業地域)	12.5	66
平成27年度	東武東上線 (平地)	板橋区常盤台3-17地先 (第二種中高層住居専用地域)	12.5	65.5
			25	60.3
	東武東上線 (平地)	板橋区徳丸4-4地先 (第一種中高層住居専用地)	12.5	65.1
			25	59.0
	東武東上線 (平地)	板橋区成増3-26地先 (準工業地域)	12.5	64
平成28年度	東武東上線 (平地)	板橋区成増3-26地先 (準工業地域)	12.5	66

出典：「平成25年度板橋区環境白書」(平成26年3月 板橋区)
「平成26年度板橋区環境白書」(平成27年3月 板橋区)
「平成27年度板橋区環境白書」(平成28年3月 板橋区)
「平成28年度板橋区環境白書」(平成29年3月 板橋区)
「平成29年度板橋区環境白書」(平成30年3月 板橋区)
「平成24年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成25年7月 東京都環境局)
「平成25年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成26年7月 東京都環境局)
「平成26年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成27年8月 東京都環境局)
「平成27年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成28年8月 東京都環境局)
「平成28年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成29年7月 東京都環境局)

b. 鉄道振動

事業区間周辺における鉄道振動の測定結果は、表8.1.1-7に示すとおりである。

平成25年度の測定結果は、東武東上線の平地区間において、最寄り軌道中心から水平方向に12.5mの地点で57dBであった。

平成27年度の測定結果は、東武東上線の平地区間において、最寄り軌道中心から水平方向に12.5mの地点で58dB～60dBであった。

表 8.1.1-7 在来線の鉄道振動測定結果

調査年度	路線名 (線路構造)	測定地点 (用途地域)	軌道中心線 からの水平 距離 (m)	振動レベル (dB)
平成25年度	東武東上線 (平地)	板橋区赤塚 2-40 地先 (第一種中高層住居専用地域)	12.5	57
平成27年度	東武東上線 (平地)	板橋区常盤台 3-17 地先 (第二種中高層住居専用地域)	12.5	58
	東武東上線 (平地)	板橋区徳丸 4-4 地先 (第一種中高層住居専用地域)	12.5	60

注) 平成24年度、平成26年度及び平成28年度は、事業区間周辺において測定が行われていない。

出典：「平成25年度板橋区環境白書」(平成26年3月 板橋区)
「平成26年度板橋区環境白書」(平成27年3月 板橋区)
「平成27年度板橋区環境白書」(平成28年3月 板橋区)
「平成28年度板橋区環境白書」(平成29年3月 板橋区)
「平成29年度板橋区環境白書」(平成30年3月 板橋区)
「平成24年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成25年7月 東京都環境局)
「平成25年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成26年7月 東京都環境局)
「平成26年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成27年8月 東京都環境局)
「平成27年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成28年8月 東京都環境局)
「平成28年度鉄道騒音・振動調査結果報告書」(平成29年7月 東京都環境局)

(イ) 現地調査

a. 環境騒音

環境騒音の調査結果は、表8.1.1-8に示すとおりである。

調査結果は、昼間59dB、夜間48dB～54dBである。調査結果と環境基準を比較すると、昼間、夜間ともに、全ての地点で環境基準に適合していない。

表 8.1.1-8 環境騒音調査結果

単位：dB

調査地点	用途地域	地域の類型	時間区分	等価騒音レベル (L_{Aeq})	環境基準
E-1	第二種住居地域	B	昼間	59	55 以下
			夜間	54	45 以下
E-2	第一種住居地域	B	昼間	59	55 以下
			夜間	48	45 以下
E-3	第一種住居地域	B	昼間	59	55 以下
			夜間	54	45 以下

注1) 時間区分：昼間：6時～22時、夜間：22時～6時

注2) 表中の調査地点は、図8.1.1-1(45ページ参照)

注3) 地域の類型 B：主として住居の用に供される地域

b. 環境振動

環境振動の調査結果は、表8.1.1-9に示すとおりである。

調査結果は、昼間39dB～42dB、夜間34dB～38dBである。調査結果と「環境確保条例」に基づく「日常生活等に適用する規制基準」に定める規制基準を比較すると、昼間、夜間ともに、全ての地点で規制基準に適合している。

表 8.1.1-9 環境振動調査結果

単位：dB

調査地点	用途地域	地域の類型	時間区分	振動レベル (L_{10})	規制基準
E-1	第二種住居地域	第1種	昼間	41	60
			夜間	38	55
E-2	第一種住居地域	第1種	昼間	42	60
			夜間	34	55
E-3	第一種住居地域	第1種	昼間	39	60
			夜間	35	55

注1) 振動レベルの値は、80%レンジ上端値(L_{10})の各時間ごとの算術平均値である。

注2) 時間区分 第1種区域 昼間：8時～19時、夜間：19時～8時

注3) 表中の調査地点は、図8.1.1-1(45ページ参照)

c. 鉄道騒音

鉄道騒音の調査結果は、表8.1.1-10に示すとおりである。

表 8.1.1-10(1) 鉄道騒音調査結果 (T-1 地点)

T-1	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
	最寄り軌道中心からの距離										
	現況	8.58m		16.33m		27.33m		53.33m		102.33m	
	計画	6.25m		14.0m		25.0m		51.0m		100.0m	
	時間区分	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上 高さ	1.2m	71	66	66	62	61	57	55	51	47	43

注1) 時間区分 昼間：7時～22時、夜間：22時～7時

注2) 表中の調査地点は、図8.1.1-1(45ページ参照)

注3) 12.5m地点は、計画線最寄り軌道中心から14.0mで測定、50m地点は、計画線最寄り軌道中心から51.0mで測定した。

表 8.1.1-10(2) 鉄道騒音調査結果 (T-2 地点)

T-2	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
	最寄り軌道中心からの距離										
	現況	3.93m		10.18m		22.68m		47.68m		97.68m	
	計画	6.25m		12.5m		25.0m		50.0m		100.0m	
	時間区分	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上 高さ	1.2m	75	70	69	65	64	60	59	54	51	46

注1) 時間区分 昼間：7時～22時、夜間：22時～7時

注2) 表中の調査地点は、図8.1.1-1(45ページ参照)

表 8.1.1-10(3) 鉄道騒音調査結果 (T-3 地点)

T-3	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
	最寄り軌道中心からの距離										
	現況	5.77m		12.02m		24.52m		49.52m		99.52m	
	計画	6.25m		12.5m		25.0m		50.0m		100.0m	
	時間区分	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上 高さ	1.2m	71	67	68	63	62	58	56	52	49	45

注1) 時間区分 昼間：7時～22時、夜間：22時～7時

注2) 表中の調査地点は、図8.1.1-1(45ページ参照)

表 8.1.1-10(4) 鉄道騒音調査結果 (T-4 地点)

T-4	等価騒音レベル (L_{Aeq}) (dB)										
	最寄り軌道中心からの距離										
	現況	5.65m		12.15m		25.15m		50.15m		100.15m	
	計画	5.5m		12.0m		25.0m		50.0m		100.0m	
	時間区分	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上 高さ	1.2m	71	67	66	62	63	59	57	52	50	46

注1) 時間区分 昼間：7時～22時、夜間：22時～7時

注2) 表中の調査地点は、図8.1.1-1(45ページ参照)

注3) 6.25m地点は、計画線最寄り軌道中心から5.5mで測定、12.5m地点は、計画線最寄り軌道中心から12.0mで測定した。

表 8.1.1-10(5) 鉄道騒音調査結果 (T-5 地点)

T-5	等価騒音レベル (L _{Aeq}) (dB)										
	最寄り軌道中心からの距離										
	現況	7.33m		13.58m		26.08m		48.08m		101.08m	
	計画	6.25m		12.5m		25.0m		47.0m		100.0m	
	時間区分	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上 高さ	1.2m	65	61	64	60	56	52	54	50	—	—

注1) 時間区分 昼間：7時～22時、夜間：22時～7時

注2) 表中の調査地点は、図 8.1.1-1 (45 ページ参照)

注3) 50m 地点は、計画線最寄り軌道中心から 47m で測定した。

注4) 表中の「—」印は、車、人、その他の影響による欠測を示す。

表 8.1.1-10(6) 鉄道騒音調査結果 (T-6 地点)

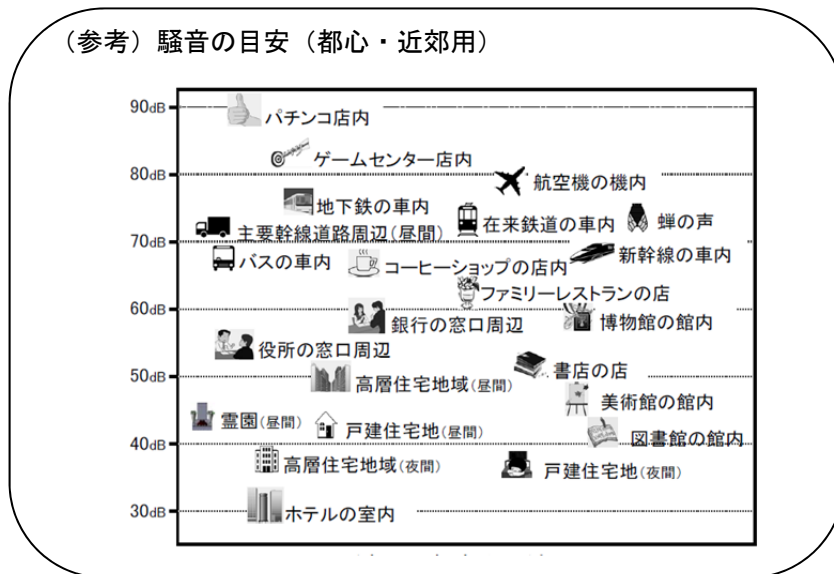
T-6	等価騒音レベル (L _{Aeq}) (dB)										
	最寄り軌道中心からの距離										
	現況	8.63m		11.13m		23.63m		48.63m		98.63m	
	計画	10.0m		12.5m		25.0m		50.0m		100.0m	
	時間区分	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地上 高さ	1.2m	62	58	63	58	63	58	58	54	49	45

注1) 時間区分 昼間：7時～22時、夜間：22時～7時

注2) 表中の調査地点は、図 8.1.1-1 (45 ページ参照)

注3) 6.25m 地点は、計画線最寄り軌道中心から 10.0m で測定した。

(参考) 騒音の目安 (都心・近郊用)



出典：全国環境研協議会 騒音調査小委員会 (平成 29 年 7 月 環境省ウェブサイト)

d. 鉄道振動

鉄道振動の調査結果は、表8.1.1-11に示すとおりである。

表 8.1.1-11(1) 鉄道振動調査結果 (T-1 地点)

ピーク振動レベル (dB)				
最寄り軌道中心からの距離				
現況	8.58m	16.33m	27.33m	53.33m
計画	6.25m	14.0m	25.0m	51.0m
T-1	63	61	56	49

注 1) 表中の調査地点は、図 8.1.1-1 (45 ページ参照)

注 2) 12.5m 地点は、計画線最寄り軌道中心から 14.0m で測定、50m 地点は、計画線最寄り軌道中心から 51.0m で測定した。

表 8.1.1-11(2) 鉄道振動調査結果 (T-2 地点)

ピーク振動レベル (dB)				
最寄り軌道中心からの距離				
現況	3.93m	10.18m	22.68m	47.68m
計画	6.25m	12.5m	25.0m	50.0m
T-2	66	63	62	56

注 1) 表中の調査地点は、図 8.1.1-1 (45 ページ参照)

表 8.1.1-11(3) 鉄道振動調査結果 (T-3 地点)

ピーク振動レベル (dB)				
最寄り軌道中心からの距離				
現況	5.77m	12.02m	24.52m	49.52m
計画	6.25m	12.5m	25.0m	50.0m
T-3	64	61	56	50

注 1) 表中の調査地点は、図 8.1.1-1 (45 ページ参照)

表 8.1.1-11(4) 鉄道振動調査結果 (T-4 地点)

ピーク振動レベル (dB)				
最寄り軌道中心からの距離				
現況	5.65m	12.15m	25.15m	50.15m
計画	5.5m	12.0m	25.0m	50.0m
T-4	65	62	58	55

注 1) 表中の調査地点は、図 8.1.1-1 (45 ページ参照)

注 2) 6.25m 地点は、計画線最寄り軌道中心から 5.5m で測定、12.5m 地点は、計画線最寄り軌道中心から 12.0m で測定した

表 8.1.1-11(5) 鉄道振動調査結果 (T-5 地点)

ピーク振動レベル (dB)				
最寄り軌道中心からの距離				
現況	7.33m	13.58m	26.08m	48.08m
計画	6.25m	12.5m	25.0m	47.0m
T-5	53	54	57	53

注 1) 表中の調査地点は、図 8.1.1-1 (45 ページ参照)

注 2) 50m 地点は、計画線最寄り軌道中心から 47.0m で測定した。

表 8.1.1-11(6) 鉄道振動調査結果 (T-6 地点)

ピーク振動レベル (dB)				
最寄り軌道中心からの距離				
現況	8.63m	11.13m	28.63m	48.63m
計画	10.0m	12.5m	30.0m	50.0m
T-6	52	53	51	50

注1) 表中の調査地点は、図 8.1.1-1 (45 ページ参照)

注2) 6.25m 地点は、計画線最寄り軌道中心から 10.0m で測定、25m 地点は、計画線最寄り軌道中心から 30.0m で測定した。